

市町村名		読谷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	スポーツキャンプ等の誘致及び観光誘客を図るため、各種スポーツキャンプ・大会等の誘致活動、キャンプチーム本拠地での観光・物産PRイベント及びキャンプ期間中の集客イベントの実施、SNSを通じた観光物産情報等の情報発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		25,868	23,958	20,882	21,441	16,278
			23,769	20,882	19,352	21,411	3,920
			▲ 2,099	▲ 3,076	▲ 1,530	▲ 30	▲ 12,358
			23,769	20,882	19,352	21,411	3,920
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		23033	20612	19112	20,754	3,920
			18,426	16,489	15,289	16,602	3,136
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	96.9%	98.7%	98.8%	96.9%	100.0%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等で各種スポーツリーグの中止や無観客試合、県外往來の自粛等により、本事業の活動が限られた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	①各種スポーツキャンプ・大会等誘致活動(4回)	目標	(4回)	(4回)	(5回)	(4回)	
		実績	2回	1回	1回	1回	
	②観光誘客活動(4回)	目標	(3回)	(3回)	(3回)	(4回)	
実績		4回	4回	5回	1回		
③観光誘客イベントや、キャンプ期間中の集客について事業委託を実施	目標	()	()	(実施)	(実施)		
	実績			実施	未実施		
達成状況説明	①4回の誘致活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により1回の実施となった。 ②4回の観光誘客活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により1回の実施となった。 ③春季キャンプ時期の観光誘客イベントを計画していたが、県境往來自粛要請や、無観客キャンプとなり、活動実施に至らなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	スポーツコンベンション誘致件数 28件以上	目標	()	(21団体)	(26団体)	(28団体)	()
		実績		28団体	29団体	8団体	
	イベント観客数 80,000人以上	目標	()	(80,000人)	(80,000人)	(80,000人)	()
		実績		77,371人	102,981人	5,690人	
キャンプ期間中の来場者数 35,400人以上	目標	()	(16,532人)	(23,275人)	(35,400人)	()	
	実績		35,400人	23,730人	0		
進捗状況説明	・スポーツコンベンション誘致件数については、新型コロナウイルス感染拡大による県境往來自粛要請等の影響が大きく、チームの遠征自粛もあり、目標値に達しなかった。 ・チーム本拠地における誘客イベントでは、観客数5,690人のイベントにて、本村の観光・物産のアピールそしてチーム代表へのトップセールスによる誘致活動を行った。イベント自粛、観客数制限もあり、思うような活動ができず目標値に達しなかった。 ・キャンプ期間中の来場者については、各チームキャンプは無観客実施となったため、集客イベントが実施できず、目標値に達しなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大により、年間を通して事業規模縮小を余儀なくされた。 ・今後もスポーツコンベンションの需要が見込まれるが、感染症対策などへの新たな対応も求められる。 ・受入時には、チームより施設仕様や地域交流等に対し、評価並びに要望もある。 ・誘客については、継続的にチームのファン層向けにPRを行い、本村の観光・物産情報を常時更新し発信することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のような非常時の状況でも、事業内容・方法を精査し可能な取り組みにより効果的な事業展開ができるよう検討する。 ・キャンプ後にチームへのフィードバック調査を行うことでチームのニーズを的確に把握していく。スポーツ施設に関するニーズには、微細な事項でも改善できるよう施設管理部と調整を行う。 ・地域交流では村特産品贈呈による激励式や児童生徒への競技普及・技術向上の機会を毎回設けており高い評価を受けていることから、引き続きキャンプから波及する教育的効果の発現機会を増やしていく。 ・キャンプ時期以外の観光誘客も充実させるよう情報発信にチームも巻き込み、村とチームとファンの距離感を縮める取り組みを行う。

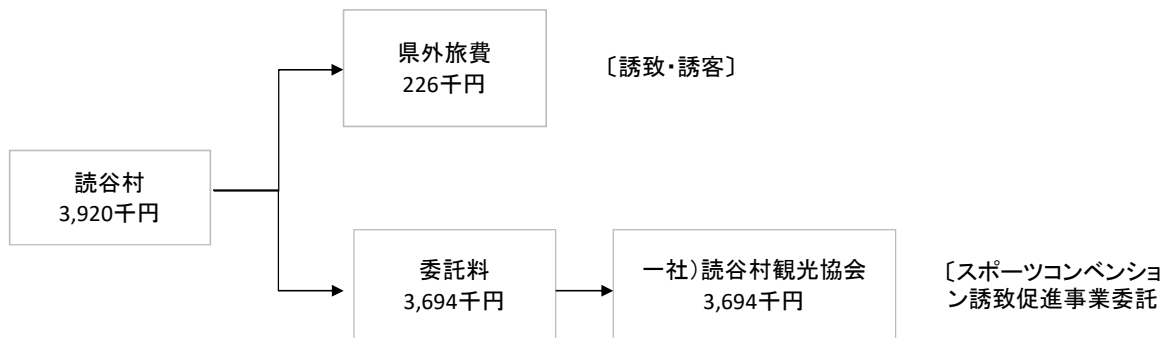
今後の取り組み方針

・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年来訪するチームにおいても令和2年度はキャンプを断念することが相次いだことから、キャンプ継続実施に向けチームの誘致促進に重点を置く。また、宿泊施設や医療機関、検査機関などと連携し、安心安全な受入体制を整えることでのPRにも取り組む。

・誘客イベントやキャンプ時にPRしたファン層などへの観光・物産情報は常時発信し続け、チームの広報媒体も活用させてもらうことで、あらゆる方向から読谷情報が届くことができれば情報取得の機会も増えると思われる。また実際に来村する動機・行動に結びつくような情報の発信内容も工夫する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,920	3,920	3,136	784	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、実績などを勘案したうえで選定しているため、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業目標などは概ね達成されているため適正な予算規模であったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途等については、額の確定時において支出などに関する書類により確認、適正であったと考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	危険生物駆除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	総務部 生活環境課	事業実施(予定)年度	平成25年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすことで、より安全な観光地を目指す。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	(a) 当初予算額	8090	7,606	7,607	7,677	4,519	
	(b) 予算現額	6180	5,802	6,048	6,002	3,619	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,910	▲ 1,804	▲ 1,559	▲ 1,675	▲ 900	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	6,180	5,802	6,048	6,002	3,619	
	B. 執行済額	6179	5802	6048	6,002	3,619	
	うち交付金充当額	4943	4642	4838	4,801	2,895	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 指名競争入札による入札残分を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光地周辺を含む村内各地に、ハブ捕獲器300器設置	目標	(設置)	(設置)	(設置)	(設置)	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
	定期巡回・管理の実施及び処分	目標	(24回)	(24回)	(24回)	(24回)	
		実績	29.1回	30.6回	20回	19回	
危険周知看板100枚の管理	目標	(100枚)	(100枚)	(100枚)	(100枚)		
	実績	100枚	100枚	100枚	100枚		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月中旬に委託業務を発注し、ハブ捕獲器300器を設置した。 ・捕獲するためのエサとなるマウスを飼育し、設置期間における2週間を目途に巡回・捕獲器の管理を行った。 ・危険周知看板の維持管理を行い、観光客及び村民への啓発に繋げた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	村内におけるハブによる観光客や村民の咬傷被害数:0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		1件	0件	0件	
	【参考指標】 捕獲数:100匹/年	目標	(-)	(100匹)	(100匹)	(100匹)	(-)
		実績		160匹	399匹	138匹	
進捗状況説明	前年度と比較すると捕獲数が減少したが、咬症被害もなく、目標達成。 令和2年度:ハブ類80匹 その他へび類58匹 計138匹 令和元年度:ハブ類160匹 その他へび類239匹 計399匹						

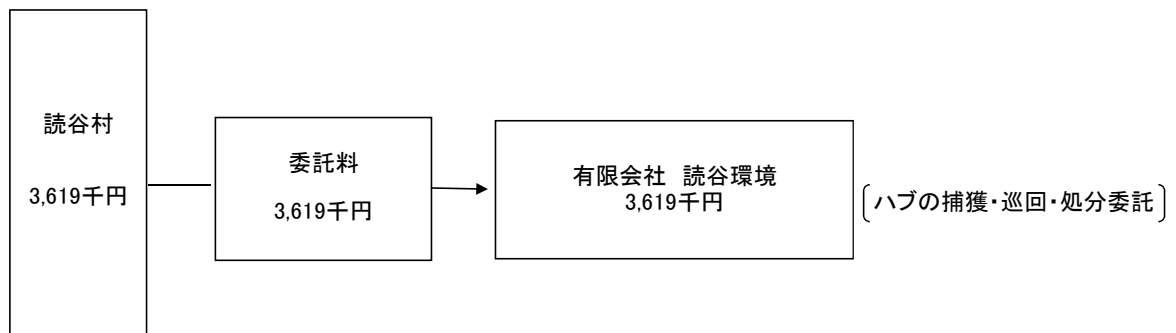
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・契約期間外(3月末～4月初)における咬傷被害防止や個体数増加抑制のため、毎年度早期着手が必要と考える。 ・今年度の咬傷被害はなかったが、今後それを維持するためにも、引き続き、注意喚起看板の徹底管理を行い、歩行者等へ周知していくことが効果的である。 ・近隣市町村と比較すると捕獲数では数が少ないが、捕獲器等の設置数も違うので単純に比較することは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初からの着手を目指し、早期の業者選定、入札執行を図る。 ・事業の概要や読谷村におけるハブ被害の現状について、HPやFMラジオを通しての周知をさらに高める。 ・エリア毎の捕獲実績数を鑑み、設置箇所の再検討を行った結果、昨年度に比べ、捕獲数は減少したが、咬症被害もなく、成果目標を達成することが出来た。捕獲数の減少に関しては事業継続に対する効果の表れと考える。

今後の取り組み方針

- ・年度当初に早期着手し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置し、危険性の除去向上に努める。
- ・HPや広報誌、FMラジオを活用し、村民及び観光客に対し、危険生物であるハブへの注意喚起を行い、事業の理解と協力を得るために、更なる広報活動を行う。
- ・捕獲器設置及び注意喚起看板の維持管理を行う。定期的な捕獲数の検証を行い、設置箇所の改善等の検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,619	3,619	2,895	724	



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案し選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模として不用額は、全て入札残であり、適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	ヨミタンJOHO発信事業 (読谷観光情報番組等PRラジオ番組制作・放送事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村の認知度向上を図るため、観光情報番組よみたんラジオを放送し、主にレンタカーを利用する観光客に番組を聴取してもらうことにより、本村のPR・誘客を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,506	7,218	7,218	7,256	5,531
			7,506	7,218	7,218	7,256	5,297
			0	0	0	0	▲ 234
			7,506	7,218	7,218	7,256	5,297
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		7,506	7,218	7,218	7,256	5,297
			6,004	5,774	5,774	5,805	4,237
			0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	概ね事業計画通りに執行したが、新型コロナウイルス感染症拡大により観光客数が減少したため、誘客効果検証費を一部減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	コミュニティFM放送を活用した観光情報の提供	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	レンタカードライブMAPへの記事掲載	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
実績		実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	・主にレンタカーを使用する観光客を本村へ誘導するため、観光情報番組を制作し、事業期間中(令和2年4月9日～令和3年3月15日)の午前中に毎日放送を行った。 ・レンタカー利用者に配布されるドライブMAPに番組の情報を掲載し、聴取機会の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	メール受信件数:1,104件	目標	()	(1,419件)	(1,281件)	(1,104件)	()
		実績			911件	894件	1,069件
	進捗状況説明	事業期間中(令和2年4月9日～令和3年3月15日)は毎日放送を行い、多くのレンタカー利用者へ読谷村の魅力や情報発信に努めた。前年度よりメール受信件数は増加したが、目標達成には至らなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>目標のメール受信件数には至らなかったが、メールテーマを絞った番組内容にすることで、前年度件数を大幅に上回る月が多くみられた。コロナ禍で観光客が減少しているが、コロナ禍における観光情報番組を通して読谷村をPR出来たと考える。</p>	<p>前年度よりメール件数が増加しているため、引き続きR2年度の取り組みを継続していくとともに、委託業者によるYouTube配信もさらに活用するなど、コロナ禍で観光客(レンタカー利用客)が減少している中で、県外への発信強化を検討する。</p> <p>Withコロナ・Afterコロナで、レンタカー利用者は勿論のこと、県内(村外)観光客等幅広い誘客が出来るような番組作りも検討していく。</p>

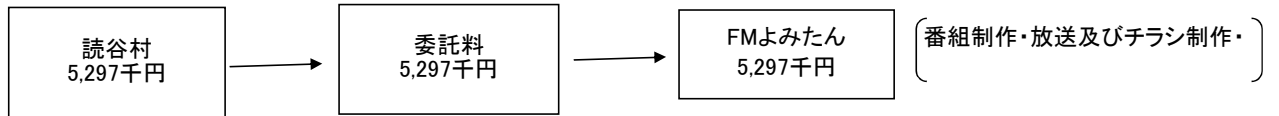
今後の取り組み方針

事業期間中の放送を欠かさず行い、読谷村の観光情報を発信していく。発信内容については、委託業者と毎月会議・意見交換を重ね、Withコロナ・Afterコロナに対応した観光情報を発信していくとともに、メール受信件数を増やし読谷村へ来訪してもらえる番組作りに取り組む。

観光客(レンタカー利用客)だけでなく、委託業者によるYouTube配信もさらに活用するなど、県外へさらにPR出来るような取り組みを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,297	5,297	4,237	1,060	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴取により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先に選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○予算規模は見積及び前年度の実績等を考慮し設定しており、適正であったと考える。</p> <p>○費目、用途については事業目的に応じて、適正なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④		読谷に一びち観光客誘致プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成29～令和2年度		市場特性に対応した誘客活動の展開	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	リゾートウェディングを目的とする観光客を誘致するため、国内外で観光客へ向けたプロモーション活動を実施する。国内外のウェディングフェアに出展し、リゾートウェディング施設の充実と村内観光等の魅力をPRする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)			10,355	2,762	2,774	2,374
				8,099	1,692	1,700	580
		0	▲2,256	▲1,070	▲1,074	▲1,794	
			0	0	0	0	
		0	8,099	1,692	1,700	580	
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額			8,096	1,646	1,700	580
				6,476	1,316	1,359	464
				0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	100.0%	97.3%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外でのプロモーション活動を自粛。国外・県外旅費等の減額。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	国内・国外でのプロモーション(3回)	目標	(2回)	(3回)	(3回)	(3回)	
		実績	3回	3回	3回	0回	
	パンフレットの作成(1万部)	目標	(10万部)	(1万部)	(1万部)	(1万部)	
実績		10万部	1万部	1万部	2千部		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していたプロモーションが自粛・中止となった。 ・予定していたプロモーション活動自粛・中止に伴い、パンフレット作成数を減らした。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H27年度)	H30年度	R1年度	R2年度	
	リゾートウェディング数:2,412組	目標	(2,433組)	(2,546組)	(2,633組)	(2,412組)	()
		実績		2,199組	2,092組	1,132組	
進捗状況説明	・リゾートウェディング数については、沖縄県の調査資料によると1,132組で、昨年から約1,000件減少し目標達成に至らなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、入国制限や都道府県を跨いだ移動の自粛等の影響により、組数の減少が生じている。	新型コロナウイルスの影響により、活動を実施できるかの判断が必要になってくる。
	予定していたプロモーション活動が中止となり、パンフレットの配布が出来なかった。(村内・県内の観光施設等への配布は実施)	プロモーション活動が実施できない場合でも、村内・県内の観光施設やウェディング関係事業所、観光団体等へのパンフレット配布や、作成したパンフレットをインターネットや様々な媒体で紹介するなど、効果的な活用法を検討する。

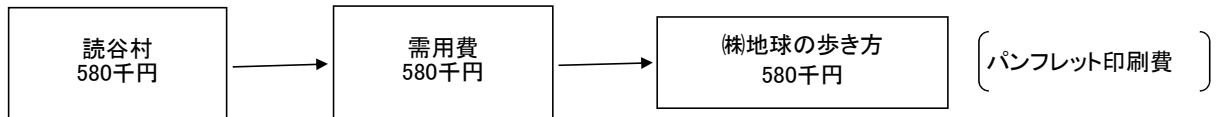
今後の取り組み方針

パンフレットをSNS等で紹介するなど効果的な取り組みを行っていく。

R3年度以降も新型コロナウイルスの影響が続き、それに伴いインバウンドの減少・国内移動の自粛等の長期化も見込まれ、R3事業活動の懸念がある。これまでの活動により読谷村のリゾートウェディング・魅力をPR出来たと考えるため、本事業は令和2年度で終了し、コロナ後のインバウンド・国内需要に適した誘客活動を検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
580	580	464	116	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者2社以上からの見積徴収により、最低価格者へ決定し発注しているため、支出先の選定は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については事業目標を概ね達成しており適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については額の確定時に検査を実施しており、適正なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村
------	-----

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑥	川回る広場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和2年度	国際的な沖縄観光ブランドの確立
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
ソフトボール競技の公式戦及びキャンプの誘致を図るため、ソフトボール場建設を行う。
工事・現場監理・備品購入を行い、令和3年度供用開始を目指す。

効果発現年度
 当年度 後年度(令和3年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H30年度	R1年度	R2年度		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	19,858	269,509	245,003	
		(b) 予算現額	19,120	255,572	217,030	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 738	▲ 13,937	▲ 27,973	
		(d) 繰越額	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	19,120	255,572	217,030	
	B. 執行済額		18,766	255,572	217,030	
	うち交付金充当額		15,012	204,457	173,624	
	次年度繰越額		0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		98.1%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明		委託料及び工事費の入札残を減額し、当初予定していた内容は全て実施した。			

活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況			
			H30年度	R1年度	R2年度
		川回る広場の整備を行う。(工事・現場監理)	目標 (実施設計の実施)	(工事・現場監理の実施)	(工事・現場監理の実施)
	実績	実施設計の実施	工事・現場監理の実施	工事・現場監理の実施	
	川回る広場の整備を行う。(備品購入)	目標 ()	()	(備品購入)	
	実績			備品購入	
達成状況説明	張芝や防球ネット設置等の土木工事と現場監理、外野フェンスやスコアボード等の備品購入を実施した。				

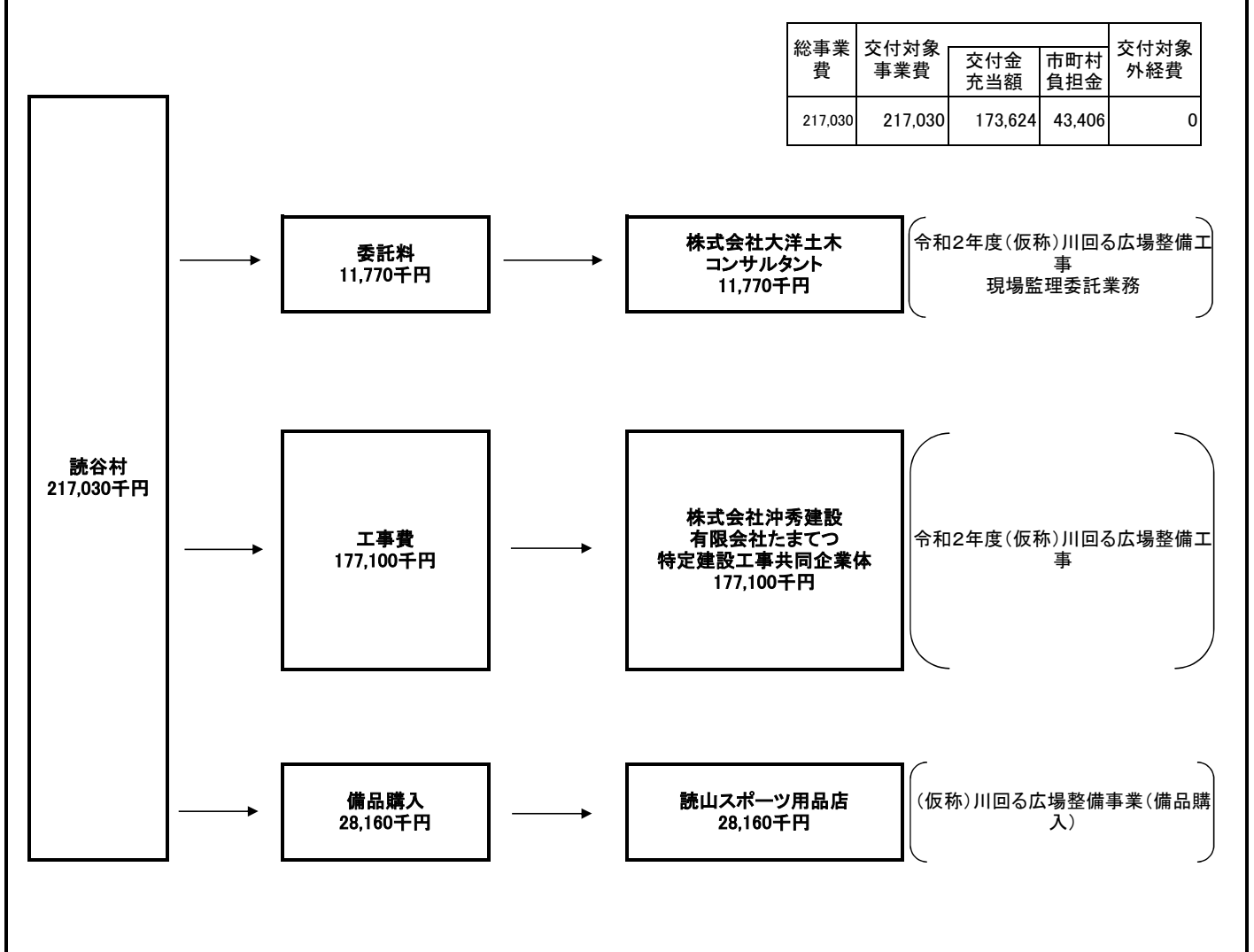
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
		工事及び備品購入の完了	目標 ()	(実施設計の完了)	(工事・現場監理の完了)	(工事・現場監理の完了及び備品購入)
	実績			実施設計の完了	工事・現場監理の完了	工事・現場監理の完了及び備品購入の完了
	【R3成果目標】 ・ソフトボール競技公式戦の誘致:5件 ・ソフトボールチームのキャンプ誘致:6件	目標 ()	()	()	()	(5件 6件)
		実績				
進捗状況説明	予定していたR2年度分の工事完了と併せて備品も購入して、運営に向けての準備が整ったので目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	トーナメント表や連絡事項の掲示スペースが不足している。	バックネット横に掲示板を設置し、利便性の向上を図る。
	完成後の施設利用(スポーツキャンプや大会等の実施)に向けて、施設の告知や誘致を行う必要がある。	沖縄県スポーツ協会等と連携をして公式戦の誘致に取り組む。また、プロチームへ直接PR活動をするなど、施設の告知及びスポーツキャンプの誘致を図る。

今後の取り組み方針

令和3年度以降のソフトボール競技公式戦及びキャンプの誘致を行うとともに、他、既存グラウンド等(運動広場・多目的広場)においてもキャンプ受入れを図り、練習試合等が行える環境利点を活かし、更なる誘致促進に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、適正な規模であると考えます。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものであるか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	ゆんたんざウトウイムチ推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立			
事業内容	読谷村の新たな観光振興基本計画を策定するにあたり、これまで推進してきた第2次読谷村観光振興計画における施策の進捗、達成状況を評価検証する。また、本村の観光振興の現状や課題の分析を行い、今後の観光振興の方向性を示す読谷村観光振興計画を策定し、計画に基づく施策を推進する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度					
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,439					
		(b) 予算現額	10,252					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 187	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0				0	
		A. 計 (b+d)	10,252	0	0	0	0	
	B. 執行済額		10,252					
	うち交付金充当額		8,201					
	次年度繰越額		0				0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当初予定していた策定検討委員会を開催することができなかったため、委員会開催費187千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度					
	第2次読谷村観光振興計画の評価・検証	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	完了					
	観光振興に係る基礎調査・分析	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	完了					
検討委員会の開催	目標	(実施)	()	()	()			
	実績	未実施						
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証は、各施策の取り組み内容について策定当時の担当者にヒアリングを行い進捗状況及び目標達成状況の確認を行った。 ・観光客、読谷ファン、観光事業者、自治会、スポーツキャンプチームへのアンケート調査や旅行口コミサイトの分析、携帯GPS調査を実施し読谷村の観光動向基礎調査を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当初予定していた策定検討委員会は開催できなかった。 							
成果目標(指標)及び進捗状況			基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	第2次読谷村観光振興計画の評価・検証の完了	目標	()	(完了・完了)	()	()	()	
		実績		完了・完了				
	【後年度成果目標】策定する計画の中で入込客数・観光振興に係る目標値を設定する。		目標	()	()	(目標値設定)	(計画に基づく各事業の実施)	()
			実績					
進捗状況説明	予定していた第2次観光振興計画の評価・検証と観光振興に係る基礎調査及び分析を完了し、目標を達成することができた。 ・第2次読谷村観光振興計画の評価・検証をし、次期計画へ継承・見直しを把握することができた。 ・観光振興に係る基礎調査・分析から観光客の行動実態、満足度、地域住民(受入側)の意識調査等を行い、観光振興の課題を把握できた。							

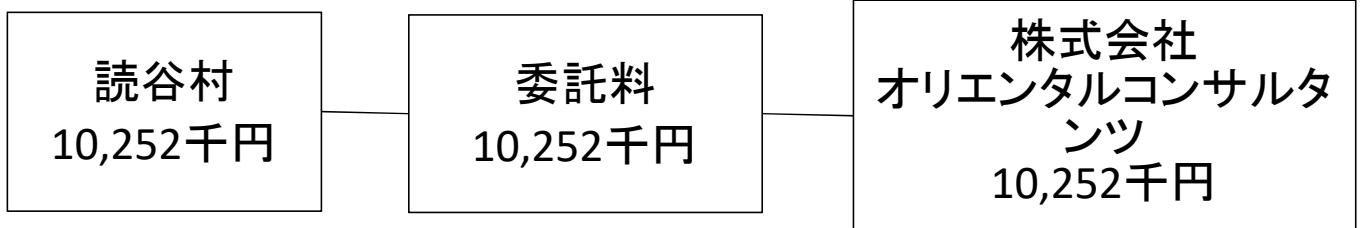
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次読谷村観光振興計画を策定した当時と現在とは沖縄県の観光動向が大きく変化しており、現在の施策として適さない取り組みがみられた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりアンケート調査の方法を見直すなど対応した。観光客アンケート調査ではコロナ禍2020年のみを対象とはせず、コロナ前2019年も調査対象としwithコロナの状況における観光動向の変化等を把握した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を踏まえ新規施策を検討し、施策体系を中期的に見直していく。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により把握できなかった観光客の消費行動について補足調査を行いさらに分析を進めていく。

今後の取り組み方針

- ・令和2年度調査した観光振興に係る基礎調査を踏まえ第3次読谷村観光振興計画に向けた、観光振興の現状と課題を整理し、第3次読谷村観光振興計画策定に向け観光客の消費行動・外国人観光客の動向把握等の補足調査を実施する。
- ・村内観光事業関係者と共に委員会等を通じて計画の策定を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
10,252	10,252	8,201	2,051	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業所は公募型プロポーザルによる随意契約で選定しており妥当と考える。 ○予算規模については事業内容を概ね達成しており適正だと考える。 ○費用・使途については事業目的に応じて適正だったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①		特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育委員会 学校指導課		事業実施(予定)年度	平成26年~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する幼児児童生徒に対応した支援を行うことにより、学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		43,773	46,825	41,161	44,426	49,374
			43,773	46,825	39,864	43,313	49,283
			0	0	▲1,297	▲1,113	▲91
			43,773	45,225	39,864	43,313	49,283
	B. 執行済額 うち交付金充当額		42,186	44,475	39,360	43,313	47,153
			33,749	33,003	31,487	34,650	37,721
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)		96.4%	98.3%	98.7%	100.0%	95.7%
予算の状況の説明	当初の計画通りに実施できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別教育支援員配置 幼稚園【5園】:5名	目標	(5名)	(5名)	(5名)	(5名)	
		実績	5名	5名	5名	5名	
	特別教育支援員配置 小学校【5校】:10名	目標	(10名)	(10名)	(11名)	(10名)	
		実績	10名	10名	11名	10名	
	特別教育支援員配置 中学校【2校】:4名	目標	(4名)	(4名)	(3名)	(4名)	
		実績	4名	4名	3名	4名	
	特別支援教育専門指導員 教育委員会:1名	目標	(2名)	(2名)	(1名)	(1名)	
		実績	2名	2名	1名	1名	
達成状況説明	当初の計画通りに支援員を配置し、発達障害や心身に障害を持つ幼児・児童生徒に対し、個々の障害の状態に応じたきめ細やかな支援を行う事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援教育支援員の支援により困難が改善された割合(80%以上)	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	
		実績		84%	82%	95%	
	進捗状況説明	対象となる幼児・児童生徒の保護者に対し、アンケートを実施した結果、学校生活や学習上の困難が改善されたと回答した割合は95%となった。年間を通じた支援員の配置により、個々の支援ニーズに応じた支援内容と支援体制を構築し、継続した支援を行うことで目標を達成することができた。					

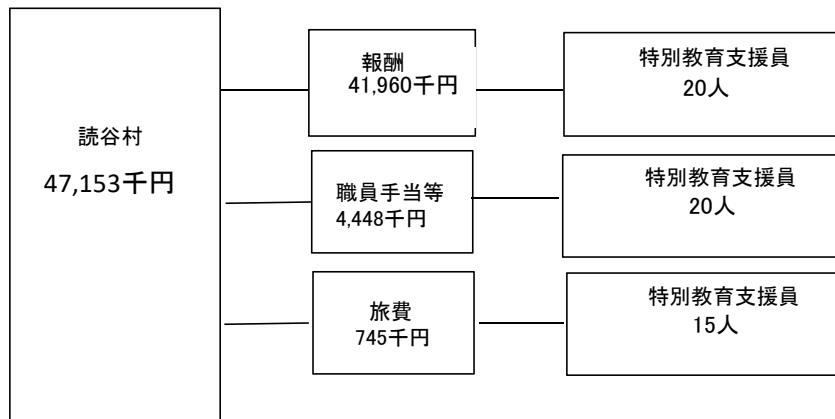
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	支援員を配置することで、対象幼児・児童生徒の個々に応じた支援をすることができた。さらに、令和2年度は小学校において、特に介助が必要な児童への特別支援ヘルパーを配置し、昨年の幼稚園に加え対象児童の支援体制を確立することができた。	障害をもつ幼児・児童生徒が増加していることから現在の支援員の体制について人員増など検討する必要がある。個に応じた支援内容が継続して提供できる体制の整備を行う。

今後の取り組み方針

今後も継続的に特別支援教育支援員を配置し、対象幼児児童生徒への支援を行うとともに障害のニーズに応じた支援員(特別支援教育支援員、特別支援ヘルパー、特別支援看護師ヘルパー)の配置を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
47,153	47,153	37,721	9,432	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則により採用しており、支出先の選定については妥当である。 ○読谷村会計年度任用職員の任用に関する規則及び要綱により予算規模を決定しており、適正な規模であった。 ○費目・使途は、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	ICT機能強化事業(中学校デジタル教科書)		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育総務課・学校指導課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学校教育の質の確保を図るため、ICT機器を村内の小中学校へ整備する実施計画で今年度は村内2校の中学校にデジタル教科書を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	3,417				
		(b)予算現額	3,417				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	3,417				
	B.執行済額		2,717				
	うち交付金充当額		2,173				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		79.5%				
予算の状況の説明		事業の予定通りに執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度				
	村立2中学校へデジタル教科書を整備		目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施				
達成状況説明		村立2中学校へ国語、社会(地理・歴史・公民)、数学、科学、英語のデジタル教科書を整備した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度		目標値(年度)	
			目標	()	(完了)	()	()
	村立2中学校へのデジタル教科書整備完了		実績		完了		
	【R3成果目標】 デジタル教科書を活用した授業がわかりやすかったかの割合80%以上		目標	()	()	()	(80%)
			実績				
進捗状況説明		村立2中学校へ国語、社会(地理・歴史・公民)、数学、科学、英語のデジタル教科書を整備完了した。					

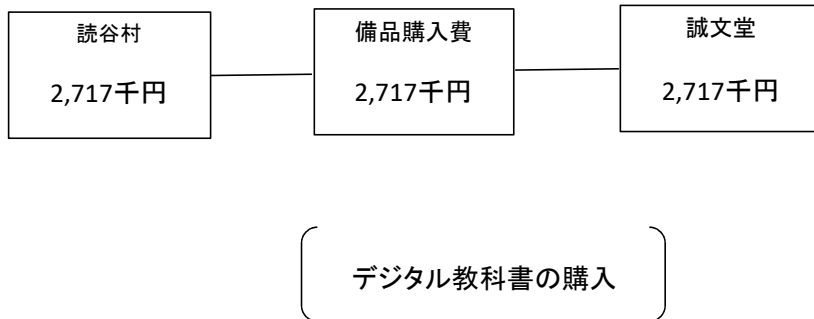
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	教科書の内容をを大画面で表示したり、絵や図表、音声化機能等の効果的な活用で生徒の学習意欲の向上と分かりやすい授業改善につながっている。 タブレット端末でのデジタル教科書の利活用の検討。	タブレット端末が配備されたので、クラウド等についてタブレット端末で利用できる環境整備を行いたい。

今後の取り組み方針

今後もデジタル教科書を活用したわかりやすい授業を実施し、特別支援クラスについても教科書を転写するだけでなく、絵や図表、音声化機能等を効果的に利用して生徒が興味・関心を高めるような授業を展開し、学校教育の質の確保を図る。また、デジタル教科書をタブレット端末で利用できる環境整備を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,717	2,717	2,173	544	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本備品整備事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、適正な規模であった。 ○費目、使途については、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	現在では、日常生活で会話することも少なくなった沖縄語(しまくとぅば)の保存継承に寄与するため、生まれ育った地域の沖縄語を調査、整理し、沖縄独特の口承文化や歌詞を沖縄語で紹介することで身近な生活の中で語られてきた沖縄語をわかりやすく学び、親しみの持てるデータベース、ホームページを構築、公開する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,900	7,075	6,260	10,000	7,000
		(b) 予算現額	5,017	6,130	7,436	10,350	7,170
		(c) 増減額(b-a)	▲ 883	▲ 945	1,176	350	170
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	5,017	6,130	7,436	10,350	7,170
		B. 執行済額	5,017	6,097	7,436	9,518	6,892
		うち交付金充当額	4,013	4,877	5,948	7,614	5,512
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	99.5%	100.0%	92.0%	96.1%
予算の状況の説明	・事業計画どおりに執行した。 ・不用額は、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・これまで集積してきた民話や聞き取り調査のデータ整理及び新たな聞き取り調査を行った。	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	・村内地域の民話・単語・音声表記をインターネットで公開する。	目標	()	()	(実施)	(実施)	
実績				実施	実施		
達成状況説明	これまで集積してきた民話や聞き取り調査のデータ整理及び新たな聞き取り調査を実施し、村内各地域の民話・単語・音声表記をインターネットで公開した。						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	HP(データベース)アクセス数:800件	目標	()	()	(完了)	(800件)	()
		実績			完了	1,113件	
進捗状況説明	・読谷村のしまくとぅばに関するデータベースを作成し、4つのコンテンツを構築し公開した。村広報誌をはじめ、メディア等で取り上げて頂いた。公開された民話をもとに、アニメーションを作成してくださった利用者もおりホームページ上で追加公開する等、更新し続けている。 ・HP(データベース)アクセス数:1,113件 ・これまで集積してきた民話や聞き取り調査のデータ整理及び新たな聞き取り調査を実施し、村内各地域の民話・単語・音声表記をインターネットで公開して、アクセス数も順調である。						

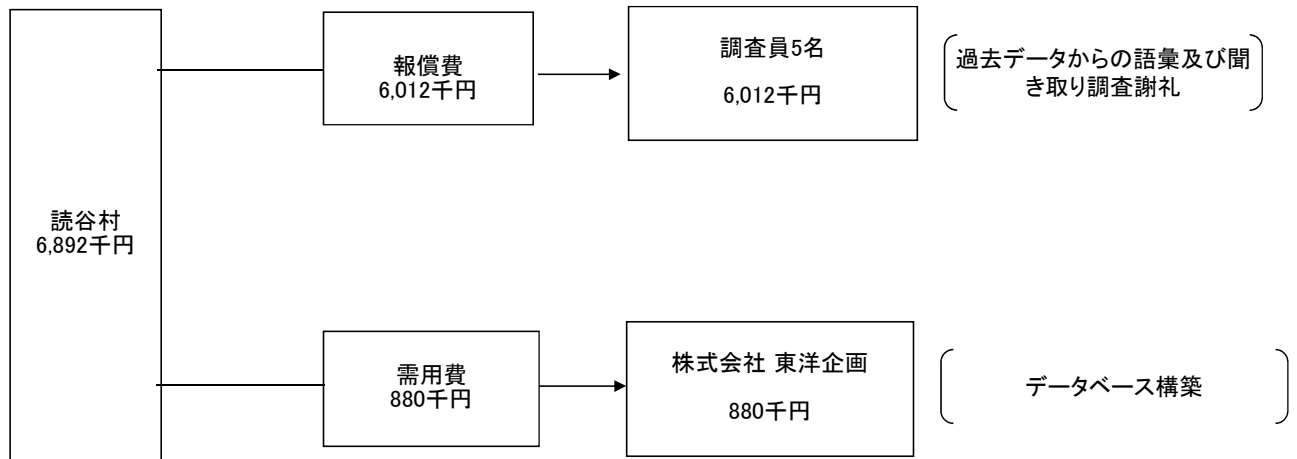
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄語の理解を深めるためには、文字表記と、実際にしまくとぅばを聞くことができるような環境を整える必要がある。 ・今後も沖縄語(しまくとぅば)を後世に継承するため家庭等での話す機会を増やすことが大事になってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに作成した紙芝居及び小冊子に加え、ホームページ上で音声表記する等、音声を活用した取り組みを強化していく。 ・家庭で話す機会として大人を対象とした「しまくとぅば講座」等を開催する。 ・しまくとぅば普及のためには学校教育での指導がかなうよう、教職員向けの講座実施を検討していたが、コロナ禍で学校時間の減少や教職員の負担増が懸念されるため、子どもたちが過ごす時間が最も長い家庭においてしまくとぅばに触れる機会を増やすため、大人向けの講座等を開催する。

今後の取り組み方針

- ・実際にしまくとぅばを聞くことができるような環境を整えるため、これまで作成した教材に加え、音声表記を作成し、WEB公開できるよう調整を行う。
- ・これまで取り組んできた子どもを対象とする「しまくとぅばで語る民話」講座に加え、大人を対象とした「しまくとぅば講座」を開催するなど、しまくとぅばの話者の派遣や講座などを実施し、多くの人が学べる環境づくりを行う。
- ・ホームページのアクセス数の確認を実施して適宜広報活動を行う等、ホームページ及びしまくとぅばへの認知度を向上させ、しまくとぅばの普及へ繋げていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,892	6,892	5,512	1,380	0



資金の流 れの点 検評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○データベース構築業者は指名競争入札等を行い、最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は構築委託業務において入札残が生じたが、委託仕様のおり業務を遂行でき適性規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村
------	-----

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-イ
担当部課名	ゆたさむら推進部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興
				Ⅲ-1-(7)

事業内容

読谷村では1978年に策定した「ヤチムンの邑(むら)」基本構想により、村づくりの中江ヤチムン(琉球陶器)の振興を推進してきた。今後のヤチムンの持続的発展を目指し、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、プロモーションを行い、販路拡大や人材を育成する。また、併せて村内工芸品である花織・琉球ガラスの販路拡大を図る。今年度は、新型コロナウイルスの影響に通常のプロモーションは実施できず、新たな取り組みでECサイトの活用と独自イベント開催を行い、令和4年以降の独自取り組みにつなげる活動を実施した。

効果発現年度

当年度 後年度(年度)

実施方法

直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	12,993	12,352	9,992	8,434	4,989
		(b) 予算現額	12,031	8,800	6,610	4,894	2,949
		(c) 増減額(b-a)	▲ 962	▲ 3,552	▲ 3,382	▲ 3,540	▲ 2,040
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	12,031	8,800	6,610	4,894	2,949
	B. 執行済額		11,358	8,279	6,214	4,681	2,131
		うち交付金充当額	9,086	6,623	4,931	3,744	1,682
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.4%	94.1%	94.0%	95.6%	72.3%
	予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率化に努め、適切な予算執行だと考えられる。 ・予算減額の2,040千円は、新型コロナウイルスの蔓延により、県外でのプロモーション事業(出展)を中止としたためである。 ・予算現額に対する執行済額の差は、出展予定をしていた事業の施設借料が、出展キャンセル後に払い戻しがあつたことと出展品の郵送料が残額の主な要因である。 				

活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・テストマーケティング等の実施 1回 ・物産展への出展 1回 ・展示会への出展 2回	目標	(実施)	(3回・1回・2回)	(2回・1回・2回)	(1回・1回・2回)
		実績	実施	3回・1回・2回	2回・1回・1回	0回・0回・0回
	周知用媒体ツールの作成	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)
		実績	実施	実施	実施	実施
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・テストマーケティング、物産展・展示会への出店は、新型コロナウイルスの蔓延により実施できなかった。 ・プロモーション活動としては、村内において「ミニミニ工芸市」、「WEBヤチムン市」を開催し、県内外の方々に読谷村の焼き物を知っていただき又購入していただくなど、コロナ禍においてのプロモーションは行えた。 					

成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			・陶器市の来場者数 14,589人 ・物産展売上金額 70,000円 ・展示会商談数 10件	目標	()	(14,057人)	(14,338人)
		実績		14,302人	14,486人	0人 0円 0件	
	【参考指標】 WEBヤチムン市アクセス数	目標	()	()	()	()	()
	実績				5,535件		

進捗状況説明

・12月開催予定であった陶器市は、開催中止となったため、来場者数の目標は、計測不能となった。
・WEBヤチムン市(3/1~3/21)へのアクセス数は、5,535件で、内訳は70%が県外在住の方で、30%が県内在住の方となった。

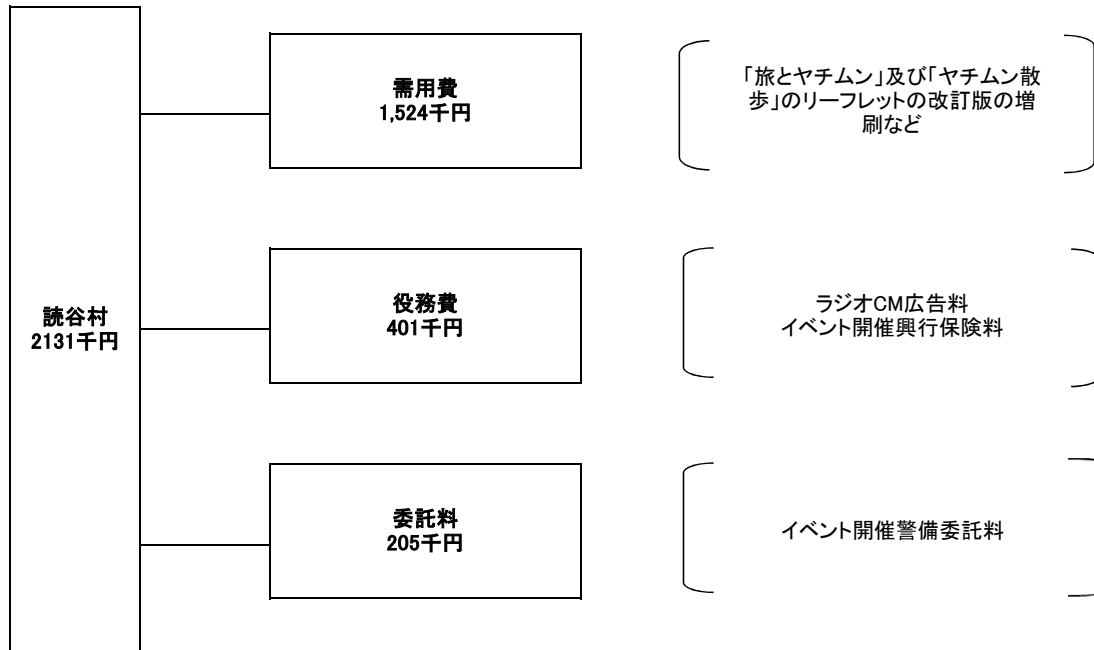
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度に関しては、新型コロナウイルスの蔓延などの影響により、県外でのプロモーション事業を実施できなかった。 ・前年度の課題の改善に努める。 ①物品を取り扱うバイヤーに対する見本市への出展が不足。 ②卸売り業者に対してのプロモーションとニーズの掘り起こし不足。 ③ECサイトを活用したイベント参加者を増やす取組みが必要。 ④令和4年以降のプロモーションのあり方の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中ではあるが、県外プロモーションが行えるタイミングを計り、1度でも可能であれば実施する。 ・前年度の改善点の実行に努める。 ①バイヤーに対しての見本市へ出展の検討及び陶工や織手とともに参加して、作り手とバイヤーでの長苦節商談を実施し、販路拡大を目指す。 ②テストマーケティングの出展地を大都市圏だけでなく、焼物が盛んな地域を考慮に入れ出展し、焼物ファンの取り込みを行う。 ③イベント開催について、令和2年度の実績を開示し、早めの参加工房の募集及び告知を行う。

今後の取り組み方針

- ・見本市でのバイヤーとの商談による新規販路開拓、テストマーケティングでのニーズの掘り起こしの実施と認知度向上を目指す。
- ・笠間焼で有名な茨城県笠間市の陶芸の丘での出展及び当地でのテストマーケティングの実施と当地での長期的な出品を行える環境の調整を検討する。
- ・ECサイトを活用したイベント等の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,130	2,103	1,682	421	27



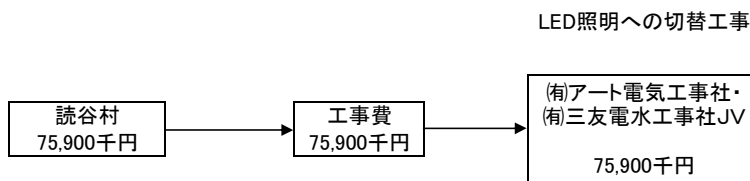
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷製本費については、パンフレット制作時に携わった組版、写真権を持っている業者に依頼しているため、支出先の選定は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○今年度は、新型コロナウイルスの影響により、県外プロモーションを行えなかったが、例年からすれば、事業に見合った予算規模であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものであるかについて、支出先に関する書類により確認しているため適正であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	低炭素社会構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ウ	
担当部課名	総務部 生活環境課	事業実施(予定)年度	平成30~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素都市づくりの推進		
事業内容	積極的な省エネルギー設備の導入により、環境負荷の少ない低炭素社会の構築と自然豊かな環境に配慮した村づくりの推進を図るために、防犯灯をLED照明に切替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。今年度は、防犯灯667基をLED照明へ切替えた。切替後の電力容量の内訳としては、620基が9.6Va、47基が39Vaへの切替えとなっている。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度			
	予算の状況	(a)当初予算額	19,440	82,620	82,920		
		(b)予算現額	18,792	80,300	75,900		
		(c)増減額(b-a)	▲648	▲2,320	▲7,020		
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	18,792	80,300	75,900		
	B.執行済額		18,792	80,300	75,900		
	うち交付金充当額		15,033	64,240	60,720		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		概ね計画的に執行できたと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度		
	LED照明整備工事の実施		目標 (調査の実施)	(工事の実施)	(工事の実施)	()	
			実績	調査の実施	工事の実施	工事の実施	
達成状況説明	R2年度分のLED照明への切替工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H27年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	R2年度分防犯灯のLED照明整備工事の完了		目標 ()	(調査の完了)	(工事の完了)	(工事の完了)	()
			実績	調査の完了	工事の完了	工事の完了	
	【参考指標】防犯灯のLED化によるCO2排出削減量268.5t-CO2		目標 ()	()	()	()	CO2の268.5tの削減
			実績				
進捗状況説明	R2年度分のLED照明への切替工事を完了した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>今年度の取り組みで667基の防犯灯をLED照明へ切替えることができた。これによって、読谷村地球温暖化対策実行計画における防犯灯のLED化の目標を達成することができた。</p> <p>今年度までに村管理防犯灯のLED化を行ったが、自治会管理防犯灯についてはLED化が進んでいない状況がある。</p>	<p>本事業は終了となるが、CO2排出量の抑制のため、今後の新たな防犯灯設置についても、省電力かつ高効率のLEDを選定し設置していく。</p> <p>自治会管理防犯灯については、自治会への補助金を活用し、LED化を推奨していく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>本事業の防犯灯のLED化によるCO2の削減量を算出し、実行計画において報告し公表していくことで、住民等の地球温暖化対策に向けた取り組みのさらなる実践を促していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
75,900	75,900	60,720	15,180	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本工事業業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額はなく、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については本工事費のみであり、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	